

防 災 講 話

令和2年10月13日（火）、防衛省自衛隊秋田県地方協力本部から7名の隊員の方々をお招きし、防災に関する講座を行いました。

災害時の危険を理解し、正しい備えと適切な行動がとれるようにするため、「災害に対する心構えと行動について」の講話をしていただきました。その後、体験的に学ぶ防災講座として、ロープワークの指導をしていただきました。秋田県における災害の想定や非常時できること、能代市のハザードマップ等が紹介され、ロープワークでは、太いロープを丈夫に結ぶ際の方法や解き方をご指導いただきました。



自衛隊員の方々が自己紹介



講話「災害に対する心構え」

職員、地域住民として非常時に何ができるか(自助)		
項目	内容	
防災対策の実現	自分の命は自分で守る	
平常時	①情報入手手段の確保	ラジオの準備 携帯メール・ツイッターの設定等
	②非常持出品、備蓄	「非常持出品」の準備 3日分の食料・飲料水等の備蓄 充電器・電池(充電方法の確保)
	③避難方法等の確認等	家族との話し合い 避難経路、場所等の確認 等
	④住宅の対策	住宅の耐震化、家具の転倒防止対策 等
災害時	①災害直後の行動	身の安全確保 周囲の状況確認 避難行動 等
	②出火防止措置	ガス栓の閉止 各種火気の遮断 初期消火等
	③正確な情報の入手	防災行政無線 TV ラジオ 広報車 携帯メール等
	④地域活動への協力	初期消火 救助活動 要配慮者等支援 避難所運営への協力

非常時に何ができるか



ロープワークの説明



隊員から指導を受けました



生徒代表謝辞